



図書館利用統計	10
図書館アンケート結果	11
データベースの紹介	12
Ciniiの使い方	13
日中大学図書館雑考	14
Expectation of Academy Award	15
摂大文化大賞、編集後記	16

女が書く／女を書く

～ゲーテをめぐる女たち～

図書館長・法学部教授 三成 美保



30歳代のゲーテ(1749-1832年)

◆書かれた女 その娘が「体が裂けるようなすごい痛み」を感じたとき、血が両足を伝って流れた。強度の生理痛だと娘は思った。しばらく月経が止まっていたから、一挙に血が流れたのだらうと。仕事の手は止められない。洗濯場に灰（石けんのかわり）を運び込んでみると、子どもが「洗濯場の石の床板の上に突然生まれて落ちた」。

娘の名はズザンナ。ドイツ中部にある帝国都市フランクフルトの小さな宿屋に勤めて2年半になる。ある商人の従僕が彼女に目を留めた。部屋に呼び、ワインを飲ませてレイプ。客はそのまま宿を去り、ズザンナの腹に種が宿った。墮胎は非合法。性そのものがタブーとされる時代、娘に性知識は乏しい。つわりも陣痛もそれと自覚しないまま、ズザンナは子を産み落としてしまった。医者も姉も彼女の妊娠を見抜けなかった。「仕事を失うのを怖れて妊娠を隠した」との官選弁護人の弁護空しく、ズザンナは子殺しの罪で公開斬首刑に処せられてしまう。1772年のことである。



ファウストとグレートヒェン (A.Scheffer:1861年)

◆女を書く 裁判に強い衝撃を受けた青年がいた。弁護士資格をもち、眉目秀麗なその青年こそ、ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ。彼の筆により、哀れなズザンナは永遠に名を残すことになる。『ファウスト』(1808/33年：初稿 1775年頃)を彩るグレートヒェン悲劇のモデルとして。だが、二人の女性は似ても似つかない。

悪魔と契約したファウストに誘惑され、子を宿して捨てられた「汚れなき乙女」グレートヒェン。ゲーテが書くヒロインは、か弱く、慎ましく、美しく、愛にあふれ、善意に満ちている。弱さや愛は女ならではの「美德」と

され、1770年代に「美しき女らしさ」とよばれて大流行した。それは廃れるどころか、その後2世紀にわたり、教養ある男たちの女性イメージを支配してしまう。「女は放縦で悪魔の手先」と決めつけていた17世紀までの女性像とはなんと違うのか。

だが、生身の女は魔女でも聖女でもない。もっとタフでしたたかだ。ズザンナも働く女性だった。ゲーテの周りにいた女たちもみな強い意思をもち、理不尽な偏見や抑圧と格闘した女たちである。

◆コルネリア ゲーテ兄妹の父は、官職につけないストレスのはけ口を子に向けた。彼は徹底的な教育を通じて、「父に従順な教養ある娘」という作品を作り出そうとしたのである。当時の裕福な市民家庭の例にない、兄妹には個人教師がつけられた。妹コルネリアは3歳のときから兄ヨハンと同じ教育を受けて育つ。



コルネリア(1750-77年)

女性が書き手として登場したのは、18世紀前半の初期啓蒙主義の時代。1770年代とは違って男女平等が唱えられ、職業女性が賛美された。「文学教皇」ゴットシェット(1700-66年)も作家の妻をもった。社会や家族と闘う女性を描いた小説を好んだコルネリアは、自らも書こうとした。だが、挫折は唐突に訪れる。作家になりたいという妹の長年の夢を、一番の理解者であるはずの兄が「女らしさ」に欠けるとして一蹴したのである。

コルネリアは、結婚によって「父の支配」から逃れようとした。だが、待っていたのは「夫の支配」。兄の友人で弁護士、11歳年長の夫シュロッサーは、コルネリアが受けた教育を「間違い」と断じ、彼女を矯正しようとした。彼が妻に望んだのは、「愛情」と「家庭」であった。シュロッサーは論文「女性のための世界史

の計画と挫折」(1776 年)で、学識が女性を怠けさせると述べ、学校教育の「女性化」を避けるよう提言した。明らかに妻コルネリアが念頭にある。夫婦仲がうまくいくはずもない。周りの男たちが期待する「母性」や「女らしさ」になじめず、家政管理者としての役割も果たせなかったコルネリアは、第二子を出産してまもなく 27 歳の短い生涯を閉じた。

◆シュタイン夫人 1775 年、26 歳のゲーテは、宮廷都市ワイマールを訪れる。そこで出会ったのが、7 歳年上のシャルロッテ・フォン・シュタイン。彼女は、摂政アンナ＝アマール公妃に仕える女官であった。貴族出身で教養豊か、すこぶる誇り高い。ゲーテは彼女を崇拝した。



シュタイン夫人
(1742-1827 年)

貴族夫婦の常として、シュタイン夫妻の間に愛情はなかったが、子はほぼ毎年のように生まれた。娘 4 人は早世し、育ったのは息子 3 人。子の相次ぐ早世は、出産を忌まわしい記憶としてとどめたらしい。彼女は、息子の妻が妊娠したときも「お気の毒」と書き送っている。「母性」とは縁遠いシュタイン夫人であったが、ただ一人自ら授乳した末息子だけは別だったらしい。彼女はその子を偏愛した。彼の個人教師がゲーテである。



クリスティアーネ
(1765-1816 年)

◆クリスティアーネ 性病感染を極度に恐れていたゲーテは、30 歳半ばのイタリア旅行まで性体験をもたなかったという。イタリア帰りのゲーテと理知的で謹厳なシュタイン夫人との間には溝が生まれた。ゲーテはまもなく若い愛人をもつ。落ちぶれた学者家系に生まれ、生計のために造花をつくっていたクリスティアーネである。ゲーテは彼女と内縁生活をはじめた。身分違いの内縁関係は、ゲーテの評判をひどく落とす。シュタイン夫人は、クリスティアーネを嫌った。

「ベッドの恋人」とさげすまれたクリスティアーネはとく

に美しいわけでも、拔きでた文才をもっていたわけでもない。ゲーテがもっとも愛した女性であったにもかかわらず、あまたあるゲーテ論はクリスティアーネについてほとんど書いていない。性的魅力が「美しき女らしさ」と相容れなかったせいだろう。彼女が中傷をものともせず、有能な家政管理者としてゲーテを支えたことは、歴史に埋もれてしまったのである。

◆ヨハンナ 1806 年、ふたりの女性がワイマールで出会った。30 年近い内縁生活を経てゲーテと結婚したクリスティアーネとヨハンナ・ショーペンハウエル。ヨハンナの息子アルトゥル(1788-1860 年)は、晩年の随想『女について』で、女性を「二級の性」よばわりし、「度しがたい俗物」だとこき下ろした。母との不和が根にある。



ヨハンナ
(1766-1838 年)

夫の死後、ヨハンナはワイマールに移り住み、サロンを主宰した。最高の賓客がゲーテ。「よき聞き手」としてサロンを成功させたヨハンナは、やがて紀行文作家としてデビューする。その 3 年後、息子が博士論文を携えてやってきた。息子曰く、「お母さんが書いたものが、紙屑拾いの籠の底にも残らないようになった時でも、わたしの本はやっぱり読まれますよ」。母は応じた。「そうかもしれない。その時になっても、お前の本は初版のままでいつでも本屋で買えるだろうからね」。このやりとりの翌年、母と息子は訣別した。

◆女が書く ゲーテが生きた時代、女性を書くジャンルは紀行文か小説に限られた。プロの書き手になるなど夫をないがしろにするとして御法度。1848 年革命時、ドイツ初の女性ジャーナリストとなったルイーゼ・オットーもまた当初は男性名で寄稿している。女性が学術の世界に入るのはさらに半世紀後。



ルイーゼ
(1819-95 年)

「女が書く」ことに制限がなくなるまで、かくも長い年月がかかった。いまこうして思いのままに書ける幸せを改めてかみしめたい。

大阪と薬の歴史 ～ 生薬と漢方薬 ～

薬学部 教授 稲田 昭

大阪は古い歴史をもつ都市であり、1580年代に豊臣秀吉が大阪城を築城し、さらに経済を主体とした大阪の町造りを施行した結果、国内外から大阪に多くの物産がもたらされた。この結果、大阪は「天下の台所」といわれる経済都市に発展した。

その中で、船場と呼ばれる地域（現 大阪市中央区）を中心に、多くの商品を扱う問屋や仲買商が誕生した。特に、北船場の本町や道修町（どしょうまち）付近には、「生薬（しょうやく）」（植物の草根木皮や動物を基原とする天然由来の医薬品）を取り扱う薬種商などが集まり、生薬の栽培や集散、売買を独占して、大きな利益を上げることとなった。このことが現在も道修町周辺に多くの製薬会社が集まっている所以といえる。

また、道修町には薬の神として知られている小彦名命（すくなひこなのみこと）を奉る小彦名神社がある。今もこの神社に続いているお祭りが、有名な「神農（しんのう）祭り、神農さん」である。神農は古代中国の伝説上の人物で、生薬を用い病気で苦しむ多くの人々を治療したと伝えられており、さらに、農耕の神としても知られている。日本では東京お茶の水の湯島聖堂の中に「神農像」が奉られている。

さて、この神農の名前がついた書物が中国の漢の時代（約 BC.200-AD.220）に編纂された「神農本草経（しんのうほんぞうけい）」であり、ほぼ同時期に編纂された「黄帝内経（こうていだいけい）」および「傷寒雑病論（しょうかんざつびょうろん）」とともに漢方処方（漢方薬）の原点となる重要な書物にあたる。「神農本草経」には、365種の生薬類が上薬〔人間の生命の本質を養うもので多く服用しても害がなく、命を延ばす目的で使用する生薬（＝養命薬）：人参（にんじん）、地黄（じおう）、桂皮（けいひ）、柴胡（さいこ）、牛黄（ごおう）、甘草（かんぞう）、大棗（たいそう）など〕、中薬〔健康増進と病気にならないような体力を養う生薬（＝養性薬）：葛根（かつこん）、麻黄（まおう）、厚朴（こ

うぼく）、芍薬（しゃくやく）、生姜（しょうきょう）、当帰（とうき）、石膏（せっこう）など〕および下薬〔毒性が強く病気の時のみ使用し、長期の連用は不可とされている生薬（＝治病薬）：附子（ぶし）、半夏（はんげ）、大黃（だいおう）、桔梗（ききょう）、桃仁（とうにん）、杏仁（きょうにん）など〕の3種類に分類、紹介されており、各々の生薬の薬効や適応なども詳しく記載されている。記載されている生薬は大半が植物であるが、動物、鉱物などもかなり含まれている。なお、「神農本草経」の概念からいうと、現在われわれが使用している医薬品の大部分は、病気の時のみ使用する下薬ということになる。

一方、これら各種の生薬は、時の遣唐使や遣随使などにより中国から日本にもたらされ、医薬品として実際に流通していたものと考えられる。事実、奈良市にある正倉院の宝物殿には、献納された生薬類の名前と重量を書き表わした納書〔種々薬帳（しゅじゅやくちょう）〕とともに、遠志（おんじ）、人参（にんじん）、沈香（じんこう）、大黃（だいおう）、甘草（かんぞう）などの生薬の実物がほぼ当時のままの形で現存している。

驚くべき事に、各生薬の含有成分などについても現在にいたるまでほとんど変化せずに含まれていることが、これまでの調査で明らかにされている。



正倉院宝物中の生薬類：遠志（上）と沈香（下）



ところで、医薬品の品質を担保するための基準公定書である日本薬局方（にほんやつきよくほう）には、現在、200 種以上の生薬が医薬品として収載されている。これらの生薬類をある一定の割合で組合せて作られる医薬品が、いわゆる漢方薬（漢方処方）にあたる。例えば、風邪薬として有名な「葛根湯（かっこんとう）」（風邪の初期や肩凝りなどに有効とされる）については、葛根（かっこん）、麻黄（まおう）、桂皮（けいひ）、芍薬（しゃくやく）、生姜（しょうきょう）、甘草（かんぞう）ならびに大棗（たいそう）の7種の生薬からなる漢方薬になる。このように漢方薬は、一般に複数の生薬の組合せ（構成生薬数としては2 種～10 種位の漢方薬が中心だが、内臓脂肪を軽減する目的で、昨今汎用されている防風通聖散（ぼうふうつうしょうさん）については、実に18 種類もの生薬からなる漢方薬にあたる）からなり、各生薬に含まれる多くの成分に基づく総合作用により治療効果をあらわす天然の医薬品といえる。

上述の「傷寒雑病論」[急性疾患や伝染病（傷寒）などに対する処方が収載されている傷寒論（しょうかんろん）と慢性疾患（雑病）に対する処方が収載されている金匱要略（きんきようりやく）との2 部からなる]には、約360 種にもわたる多くの漢方薬が、その使用方法などとともに記載されている。「傷寒雑病論」に記載されている多くの漢方薬[葛根湯（かっこんとう）、麻黄湯（まおうとう）、小柴胡湯（しょうさいこうとう）、五苓散（ごれいさん）、八味地黄丸（はちみじおうがん）など]は、今日まで日本や中国などの医療現場で医薬品として広く利用されている。現在、漢方薬については、医師が診断し処方される保険が適応される医療用の漢方薬が約150 種、保険適応外のいわゆる一般用の漢方薬については、実に200 種以上にものぼる。一般用の漢方薬の中で使用頻度の高いものについては、他の医薬品と同様、薬局やドラッグストアなどで日常的に購入することができる。特筆すべきことに現在の日本の医療では西洋医学と漢方医学はともに利用可能であり、疾患の種類や患者の体質や症状に合わせて、両者の特性をうまくとりいれて治療していくことが最良の

治療法といえる。すなわち、漢方医学は西洋医学の不十分な点を補う（逆の場合もありうるが）ことができ、両者の関係は、たがいに相手の弱点を補う相補的な関係といえる。漢方治療の特色としては、病気を局所的な異常ととらえず、精神的なものを含め全体的な異常と考え、患者がその時点で有している病気に対する抵抗力や精神力、体質などを考察して「証（しょう）」（漢方医学独特の診断法により得られる診断結果で、病名を指す言葉ではない）というものを考慮して治療にあたるのが特徴である。いいかえると漢方治療は、患者毎のテーラーメイド治療（西洋医学的には同一の病名でも、漢方では患者の「証」が異なれば、一般的に異なる漢方薬が処方される）といえる。

このような理由から漢方薬は病気の治療のみならず、病気の予防や病中・病後の患者の体力回復や体質の改善などを目的に、われわれの健康維持に貢献している薬剤ともいえ、西洋医学主体の日本の医療制度の中でも、着実にその地位を確立してきた。

現在、これまでは主に経験的に用いられてきた漢方薬の現代科学的な解明が進んでおり、その有用性や新しい利用法が次々と明らかになってきている。

このことから漢方薬の医薬品としての重要性は、今後ますます増大していくものと思われる。なお、漢方という名の由来は、江戸時代後半にシーボルトらによりもたらされたオランダ伝来の医学を蘭方（らんほう）と呼んだため、これと区別する目的で以前から日本にあった中国伝来の医学を漢方と呼称したことがその語源となっている。

さて、最初に紹介した「神農祭り」は11 月下旬に行われ、大阪地区ではその年の最後の祭り（止めの祭り）であり、お祭りの期間中は多くの人達が訪れ、無病息災のシンボルだけでなく、商売繁盛のお守りとしての意味もある「張り子の虎がついた笹飾り」をもらうのが習わしとなっている。皆さんも道修町界隈を散策しながら、薬の町としての大阪の歴史を体感されてはいかがでしょう。



文献学的昆虫記

外国語学部 准教授 橋本 正俊

「蟪蛄（しょうめい）」という虫がいる。昆虫図鑑にその名はなくとも、文献には散見する。まずは、『太平記』巻第十二「広有怪鳥を射る事」から引いてみよう。紫宸殿に怪鳥が現れ、夜な夜な不吉な声で鳴く。そこで怪鳥を射落とすように命じられた広有という武士は考える。

げにもこの鳥、蚊の腿に巣くふなる蟪蛄の如く小さくて、矢も及ばず、虚空の外に翔り飛ばば叶ふまじ。目に見ゆる程の鳥にて、矢懸かりならんずるに、何事ありとも射はずすまじきものを。

怪鳥が蚊の腿（まつげ）に巣くうという蟪蛄のように小さいのであれば仕方がないが、目に見えるほどの鳥なのだから射外すはずはない、という。蟪蛄とは蚊の腿に巣くうほどの、極小の虫であった。

蚊という小さな虫、そして身体の一部の中でも些少な腿、さらにはそこに巣くうという蟪蛄。微を超えて極微の世界へ。古人の想像力に脱帽してしまう。しかしこれは『太平記』筆者の創作ではない。蟪蛄ははるばる中国から渡来した虫であった。

古くは『列子』湯問第五第一章にその名は見える。

江浦の間に、塵蟲（ばちゆう）を生ず。其の名を蟪蛄と曰ふ。群飛して蚊の腿に集まるも、相触れず、栖宿して去来するも、蚊覚らず。離朱・子羽、昼に方（あた）つて臂（まなじり）を拭ひ、眉を揚げて之を望むも、其の形を見ず。（新釈漢文大系の訓読による）

蟪蛄は蚊の腿に住み着いても、触れた感じさえせず、蚊は気付くことさえない。眼がよいとされる離朱や子羽が目凝らしてみてもその姿は見えなかったという。

また、日本の文芸に多大な影響を与えた詩文集『文選』巻第十三「鷦鷯賦」にも次のように見える。

巨細舛錯（せんさく）して、種繁く類殊なる。蟪蛄は蚊腿に巣くひ、大鵬は天隅に弥（わた）る。将（はた）以て上（は）に方（くら）ぶれば足らず、下

に比ぶれば余りあり。天壤を普くして以て遐（はる）かに観るに、吾又安（いづく）んぞ大小の如（した）がふ所を知らん。（新釈漢文大系の訓読による）
巨大な鳥として知られた大鵬と比較し、上には上、下には下がいるのであり、大小を比較することの無意味さを説いている。

この他、『抱朴子』や『晏子春秋』、仏典にもその名を見せる蟪蛄は、早くから日本で知られるところとなっていたろう。空海も『三教指帰』巻下で、小さな虫を色々と挙げて、つまらぬ争いごとを表現している。

蛛蝥（ちうぼう）の網を甲にし、蟪蛄の騎に鎧せり。蝨皮（しつぴ）を鼓として陣を驚かし、蚊の羽を旗として旅（たむろ）を標（あら）はす。（日本古典文学大系の訓読による）

『枕草子』にも、

大蔵卿ばかり耳とき人はなし。まことに、蚊のまつげの落つるをも聞きつけ給ひつべうこそありしか。

と、大蔵卿は蚊の腿の落ちる音が聞こえるほど耳がよいと言っているが、蟪蛄を念頭に置いてのことだろうか。また中世には禅僧の語録や漢詩にも好んで蟪蛄が用いられることになるのであるが、今は措く。ここでは室町時代の辞書に目を向けよう。

室町時代に成立した国語辞書を総称して『節用集』という。辞書と言っても、イロハ順に、さらにその中で部門別に単語があげられ、一部に簡略な意味が添えられたもので、特に知識階級によって用いられていたものである。複数の『節用集』が現存しているが、ここにも蟪蛄は登場する。

その一つ、伊京集に、

蟪蛄虫 形尤極小也。巢蚊腿虫也。

また文明本に、

蟪蛄虫 形尤極小也。巢蚊腿者也。

とある。ところが、黒本本と呼ばれる『節用集』の一本には次のようにある。

蟪蛄 形尤小也。巢蚊睫鳥也。

一見同じようだが、「虫」ではなく「鳥」となっている。見出語も「蟪蛄」のみで「虫」の字がないことから、誤植ではあるまい。黒本本の編者は、蟪蛄を鳥と考えていたのである。とすれば、文明本が「虫」とも「鳥」ともせず、「者」としているのも、どちらか判断に迷った可能性が高いだろう。なぜ蟪蛄を鳥と考えたのか。この謎を解く鍵は、先にあげた『文選』にある。

先に『文選』の「鷦鷯賦」から引用したが、この題にある「鷦鷯（しょうらい）」とは日本でミソサザイと呼ばれる鳥のことである。この賦は鷦鷯を主題としたもので、次のように詠んでいる。

鷦鷯は小鳥なり。蒿萊（かうらい）の間に生まれ、藩籬（はんり）の下に長じ、尋常の内に翔集して、生生の理足る。色は浅く体は陋（いや）しくして、人の用を為さず。形は微にして処（を）るること卑しければ、物之を害する莫（な）し。

鷦鷯は小さな鳥の代表として知られていた。ここでは、鷦鷯がその小ささ故に網も恐れず、食べ物にも困らず、満ち足りた生活を送っていることを述べている。先に引いた蟪蛄の一節はこの賦の末尾にある。

鷦鷯と蟪蛄。字体が似る上に、「しょうらい」「しょうめい」では音も似ている。どちらも極小の鳥と虫。そして『文選』では同じ賦に登場している。日本でこれらを混同してしまうのも、もっともなことだったろう。それは文献からも確認できる。

1130年に成立したかと考えられる説経の聞書に『法華修法一百座聞書抄』と呼ばれる資料がある。ここには、

又ハウウトイフ鳥ノ天ノスミニハビコリ、セウレウトイフ鳥ノカノマツゲニスクフニモ、普賢菩薩ハハナレ給ハズ。

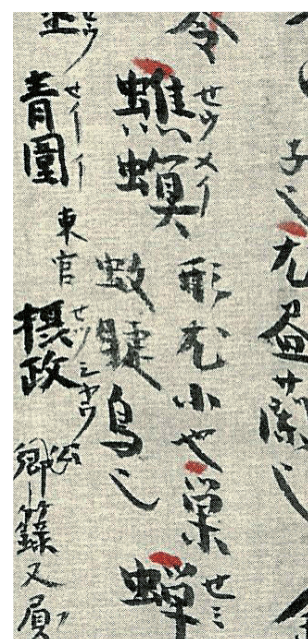
とあり、「セウレウ」という「鳥」が蚊の睫に巣くうという。明らかに両者を混同したものであろう。また対極にある極大の生物として、ここで「ハウワウ（鳳凰）」をあげている。『文選』では「蟪蛄は蚊睫に巣くひ、大鵬は

天隅に弥る」とあったように対極に「大鵬」をあげていた。このように対比される「鳳凰」「大鵬」が鳥であったことも、誤解の原因となったであろう。

もう一例。成立年代は不明ながら中世の仏書『真如観』には、次のようにある。

心セバク唯一有情ヲ我ト思ヘバ、漸々ニ、ツバマリモテ行テ、蟻ケラ乃至、カノマツ毛ニスラクウナル、セウレウト云鳥ニモ成ヌ。此等ミナ唯心ガ所為也。

これも同じ誤解であることは、言うまでもない。このような混乱が『節用集』の蟪蛄の説明に影響を与えたの



黒本『節用集』
(尊経閣善本影印集成より転載)

であろう。再び冒頭『太平記』に目を向ければ、怪鳥退治を命じられた広有の頭に浮かんだ「蟪蛄」。それは虫であったか鳥であったか。

さて、この蟪蛄、江戸時代には俳諧の世界にも登場する。元禄頃刊の歳時記『をだまき』の「四季の詞 五月」に、

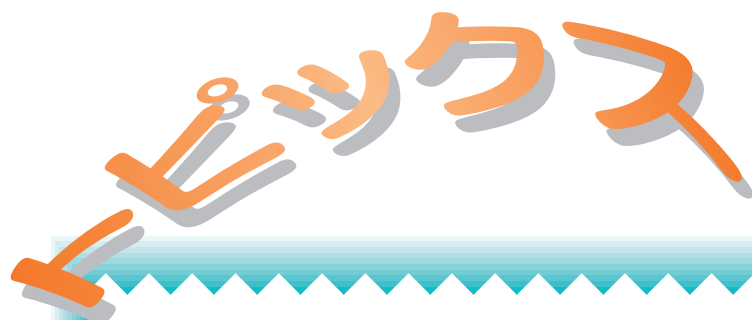
蟪蛄 蚊のまつげにすくふ虫也。

とある。また明治に入っても仮名垣魯文『西洋道中膝栗毛』に、

おめへ方に兎の毛どころか蟪蛄の産毛ほどもこみやられてなるものか。

とあり、文献には慥かに生存を確かめられるのであるが、その後の行方は知らない。

以上、重箱の隅よりも細かい、蚊の睫に住む虫の話であった。取るに足りぬ話とお思いの向きもあろうが、「吾又安（いづく）んぞ大小の如（した）がふ所を知らん」。



Topics

☆図書館講演会を開催

昨年6月17日に講師として岩下雅子さんをお迎えし、「企画力を高める」というテーマで図書館講演会を開催しました。岩下さんは現在、鹿児島県立短期大学附属図書館専門員としてご活躍で、前任の鹿児島県立加治木高校では、読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞されるなど読書推進のための様々な取り組みをされています。講演では、貸出ポイント制の導入、選書ツアーの実施、他館とのタイアップ展示、ブックトークの開催、立体分類表示の作成、季節や話題に応じた企画展示など利用者を巻き込みながら、かつあまりお金をかけないで、図書館の利用促進に結びつける巧みな企画が次々と披露されました。図書館に限らず、企画を立案するうえでのヒントが得られた講演会でした。



☆中学生が職業体験学習

昨年11月に守口市立庭窪中学校から、今年1月に寝屋川市立友呂岐中学校からそれぞれ2年生2人が、図書館本館で職業体験学習をしました。

1日目はカウンター業務や図書の配列を、2日目は図書の装備や雑誌の配架、掲示作りなどを体験。図書館にいろいろな仕事があり、チームワークで利用者サービスを行っていることを学んでもらいました。

☆本館第2閲覧室にパソコン設置

本館1階第2閲覧室にデスクトップパソコンを20台設置しています。これは情報メディアセンターのパソコン更新の一環として、新規に設置されたもので、情報メディアセンターと同一環境の設定になっています。広い机に置かれていますので、資料を広げながら、またグループでも利用可能です。



枚方分館ニュース

★枚方分館リニューアル★

図書館枚方分館では、2012年度から薬学部に加え新たに看護学部の学生・教職員を迎えることとなります。図書館環境において、これまで以上に明るく清潔でアットホームな雰囲気大切に、居心地の良い利用し易い図書館環境を目指して、主に施設設備の改修や利用環境の見直しを行いました。

新しい閲覧室の開設

昨年8月から9月にかけて旧 225 教室を改造、12 月には新規に閲覧用机や椅子を設置しました。

プライバシーを保てる個別席と自由に並び替えができる席があり、自習や小グループの学習が可能な環境です。明るく落ち着いたムードでオープン直後から利用者が後を絶ちません。



オープンスペースのエンタランス

昨年の工事で、閲覧室の壁を取り除き、図書室と学術雑誌室を一体化、ワンフロアタイプの見通しの良い空間を造りました。入口も2号館2階の廊下側と1号館側の入口も同時に利用でき、アクセスを良くしています。開放感ある広々としたエンタランスゾーンでは新聞・軽雑誌・文庫本・新書本を手軽に利用することができます。すぐそばにはメインカウンターが控えているので様々なサービスや相談にも対応できます。

書架の増設とリーディングスペースの確保

新設の看護学部に関連する専門書や参考書の関連資料を収納するための書架を館内図書室に増設しました。これに伴い館内の閲覧机・椅子の配置を変更し、窓の多い図書館南西側に圧迫間を感じさせない閲覧スペースを確保しました。

また、書架の近くにはプライバシーに配慮した個別席を設けるなど工夫をしています。



見えない部分のリニューアル

利用者の皆様には触れにくい1階部分でも図書・学術雑誌の保存管理のための環境改善を行っています。旧総合案内センターを改造して保存書庫に取り込み増床、新たに書架を設置しています。また、保存書庫の電動式移動書架の安全運用のための改修工事も実施しました。

図書館利用統計

図書館ではより良い図書館運営のために利用状況の調査、アンケートの実施などを行っています。ここでは2009年度、2010年度利用統計と、2011年度上半期に本館で貸出の多かった図書について報告します。

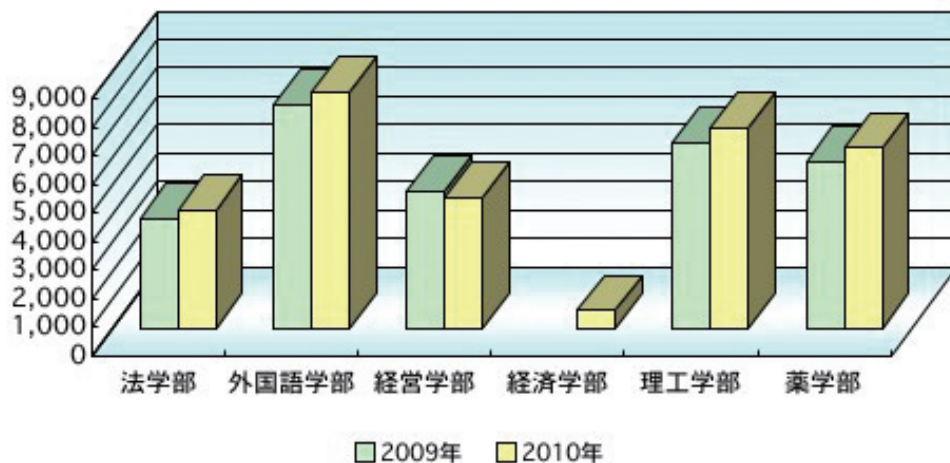
入館者数 貸出冊数

2010年度は、入館者・貸出者数・貸出冊数のいずれにおいても、トータルでは1割近い増加がありました。

区 分		本 館	分 館	計
開館日数	2010年度	276日	284日	—
	2009年度	268日	275日	—
入館者数	2010年度	262,619人	99,077人	361,696人
	2009年度	210,000人	128,192人	338,192人
貸出者数	2010年度	18,077人	4,529人	22,606人
	2009年度	15,923人	4,703人	20,626人
貸出冊数	2010年度	32,125冊	8,294冊	40,419冊
	2009年度	29,571冊	8,062冊	37,633冊

学部別 貸出冊数

経営学部は微減となりましたが、貸出冊数は増加傾向にあります。(経済学部は2010年度からの設置です。)



2011年度 上半期貸出 ランキング

本館3Fのリーディングラウンジに配架されている本がよく借りられました。その他では作品の映像化が続いた有川浩さんの複数の作品が上位にランクインしました。

* 今回の統計から資格・就職に関する本は除いたランキングとなっています。

タイトル	貸出回数
Little mouse's red vest / written by Yoshio Nakae	16
Three little pigs : a traditional English folktale / illustrated by Saburo Yamada	14
Elephee's walk / なかのひろたか絵と文	13
植物図鑑 / 有川浩著.	13
夢を実現する技術 / 藤沢晃治著.	13
阪急電車 / 有川浩著.	12
Don't want to go to bed? / by Keiko Sena	12
謎解きはディナーのあとで / 東川篤哉著	12
ドラえもん / 藤子・F.不二雄著 (Shogakukan English comics)	12
January's child : the birthday month book / by Andrea Alban Gosline	12

図書館アンケート結果

昨年の11月から12月まで図書館アンケートを実施しました。同形式での3回目となります。
ご協力ありがとうございました。前年度との比較もしながら、主な項目の集計結果をお知らせします。

回答者数

本館：25人（前年度：222人） 分館：17人（前年度：35人）
配布期間が前年度より短くなったため、回答者数が減少しました。

■アンケート集計（ ）内は前年度

(1) 図書館の環境についてどう思われますか。

良い3点、普通2点、悪い1点として平均点を算出しました。

項 目	本 館	分 館
資料の配置	2.6(2.5)	2.5(2.4)
閲覧席	2.6(2.5)	2.5(2.4)
案内表示	2.5(2.5)	2.1(2.4)
静寂性	2.2(2.3)	2.1(2.0)
視聴覚設備	2.5(2.6)	1.8(2.3)
パソコン設備	2.6(2.5)	2.1(2.4)
環境全般	2.6(2.6)	2.5(2.5)

本館はほぼ前年度と同様の結果でした。夏期休暇中に改装工事を行った分館は、外観は改善されましたが、視聴覚やパソコン設備の更新はしていませんので、評価が下がる結果となりました。ただし、環境全般は前年度の評価と変わりませんでした。



(2) 図書館資料のうち、どれを充実すべきだと思われますか。

本館は、参考図書、文庫本・新書本、専門図書、一般雑誌、視聴覚資料の順で、
分館は、文庫本・新書本、専門図書、一般雑誌、教養図書の順となりました。

(3) 図書館の企画展示(特定のテーマの図書の展示)についてどう思いますか。

項 目	本館(%)	分館(%)
関心(興味)がある	44.0	47.1
あまり関心(興味)はない	40.0	17.6
企画展示は見たことがない	16.0	35.3

この設問は、今回初めて設けたものです。図書館としては、企画展示で少しでも図書への関心を向けてほしいと思っていますが、関心がある利用者は50%以下でした。

(4) 次の目的で図書館を利用する場合、利用環境はどうですか。

良い3点、普通2点、悪い1点として平均点を算出しました。

項 目	本 館	分 館
レポート作成	2.6(2.5)	2.5(2.6)
自学、自習	2.8(2.6)	2.3(2.6)
グループ学習	2.5(2.4)	2.3(2.5)
情報検索	2.5(2.6)	2.0(2.4)
図書閲覧	2.5(2.6)	2.6(2.3)
視聴覚資料鑑賞	2.5(2.5)	1.9(2.1)
雑誌閲覧	2.6(2.5)	2.4(2.5)
新聞閲覧	2.6(2.5)	2.2(2.3)

分館で、視聴覚資料鑑賞の評価が低くなっています。今後、視聴覚機器の充実を図り、利用しやすい環境を作りたいと思います。



(5) 図書館スタッフの対応についてどう思われますか。

良い3点、普通2点、悪い1点として平均点を算出しました。

	本 館	分 館
平均点	2.9(2.7)	2.9(2.7)

概ね「良い」との評価をいただきました。

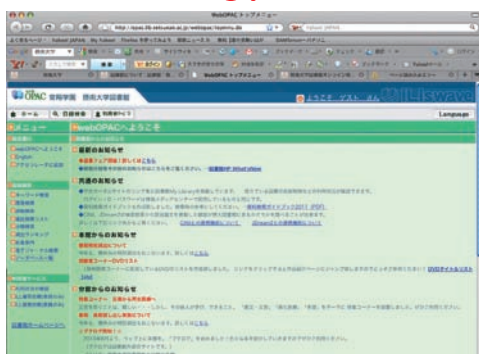
ご存知ですか？

図書館のホームページには本を検索したり、新着情報が見られるページだけでなく、課題作成や論文作成に役立つデータベースやオンラインジャーナルを紹介しているページもあります。



摂大HPの「オンラインジャーナル／外部データベース(学内専用)」をクリック！

or



webOPAC の左メニューの目録検索内にある「データベース一覧」をクリック！



図書館からのお知らせ | OPACトップページ | 図書館ホームページ

外部機関が提供しているデータベースを利用して、論文や雑誌記事の文庫検索ができます。
※利用は原則として学内からのアクセス、摂南大学の教職員・学生等の利用に限りです

各データベースの詳細は以下のとおりです。なおデータベースの利用に関しては各提供業者のHPなどに書かれた採録範囲や期間、内容についての解説をよく読んでおいてください。

[外部データベース](#)
[新聞記事検索等](#)
[蔵書目録](#)
[電子ジャーナル・電子ブック](#)
[その他](#)

外部データベース

◆新聞記事等検索等

聞蔵Ⅱビジュアル
朝日新聞社、同時アクセス2
1945年から今日までの記事と広告が検索できる国内最大級の新聞記事オンラインデータベースです。終了時は必ずログアウトをクリックしてください。

日経テレコン21
日経メディアマーケティング 同時アクセス1
日経四紙(日本経済新聞・日経産業新聞・日経MJ・日経金融新聞)、企業情報、人事情報、マクロ経済統計などの閲覧が可能。利用の際は図書館カウンターまでお尋ねください。詳しい操作方法は [こちら](#) をご覧ください。

ジャパンナレッジ プラスN
ネットアドバンス 同時アクセス4
百科事典・辞書・ニュース・学術サイトURL集などを集めた日本最大の知識データベースを一括検索できます。右上のログイン/Enterをクリックしてアクセスしてください。終了時は必ずログアウト/Logoutをクリックしてください。また、ジャパンナレッジの使い方を動画でご覧いただけます。詳しくは[ジャパンナレッジ・ガイダンス・ムービー](#)をご覧ください。操作方法の簡易ガイドについては [こちら](#) を、ジャパンナレッジを使ったレポート作成法は [こちら](#) をご覧ください。

理科年表プレミアム
丸善 同時アクセス無制限
1925年(大正14年)以降最新版までの理科年表の内容を収録したデータベース・理科年表プレミアムです。暦部、天文部などの各部分に表のタイトルから探す「目次検索」、五十音順の「索引検索」の他、解説文等から必要な表にアクセスできる全文検索を用意しています。理科年表プレミアムの操作手続は [こちら](#) をご覧ください。

ブリタニカ・オンライン・ジャパン
ブリタニカ 同時アクセス無制限
1768年に発行され、世界中から信頼を集めるブリタニカの小事典、大項目事典、国際年鑑で構成されるデータベースをインターネットで利用できるようになりました。ブリタニカ・オンライン・ジャパンの詳しい操作方は [こちら](#) を、ブリタニカ・オンラインの操作方は [こちら](#) をご覧ください。

BOOK PLUS
日外アソシエーツ 同時アクセス3
昭和元年より現在までに出版されている300万件以上の図書情報を検索できます。1986年以降の本には要旨・目次情報などを、2000年以降の本には著者紹介情報を掲載しています。

[ページTOPへ戻る](#)

◆官報

官報情報検索
独立行政法人国立印刷局 同時アクセス1
財務省印刷局が提供するインターネット版「官報」で、昭和22年5月3日(日本国憲法施行日)から直近の情報が全文、検索・閲覧全文が可能。利用の際は図書館カウンターまでお尋ねください。

「オンライン情報源」は摂南大学で契約している新聞記事検索が可能な「聞蔵Ⅱ」や「日経テレコン 21」といったデータベースから、オンラインジャーナル検索ポータルサイト、Net Library などの電子ブックが見られるサイトへのリンク一覧となっています。課題や論文作成に役立つものばかりですので、ぜひご活用ください！

Articles CiNiiの使い方

「オンライン情報源」に掲載されているデータベースのひとつで、CiNii(サイニィ) の簡単な使い方をご紹介します。CiNii とは、学術論文情報を検索する論文データベースです。

1

CiNii 日本論文をさがす
Articles

論文検索 著者検索 全文検索 (beta) 大卒図書館の本をさがす

論文検索

すべて CIIに本文あり CIIに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

CIIに本文あり刊行物ディレクトリ

キーワードを入れて検索します
(検索対象は「すべて」や「CiNii
に本文あり」等選択できます)

2

CiNii 日本論文をさがす
Articles

論文名 著者名 ISSN 出版年 著者所属 巻 号 ページ 参考文献 検索

すべて CIIに本文あり CIIに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

詳細検索では「論文名」や「著者
名」をはじめ、「ISSN」「巻」「号」
などからも検索でき、その他論理
演算※を用いた検索ができます

※論理式による検索

AND検索

複数入力した全てのキーワードを含むレコードを検索
(キーワードをスペースか & で区切る)

OR検索

複数入力したすべてのキーワードのいずれかを含むレコードを検索 (OR または、| で区切る)

NOT検索

複数入力したキーワードで、直後のキーワードを含まないレコードを検索 (NOT で区切るか、検索語の直前に、- (半角ハイフン) を加える)

3

キーワードを追加すると
絞り込み検索ができます

論文名をクリックすると
詳細を表示します

検索結果一覧に含まれる
著者名と刊行物名が表示
され、クリックすると詳細
検索の「著者名」、「刊行物
名」で再検索されます

詳細表示画面では著者名や
連携サービスのアイコン、抄
録などが表示されます

検索結果: 6件中 1-6 を表示

操作を返却... 実行 全件選択 20件ずつ表示

出版年: 順入れ順 表示

論文名をクリックすると詳細を表示します

検索結果一覧に含まれる著者名と刊行物名が表示され、クリックすると詳細検索の「著者名」、「刊行物名」で再検索されます

詳細表示画面では著者名や連携サービスのアイコン、抄録などが表示されます

日中大学図書館雑考

— ある研究室の場合 —



私たちは、中国の大学を卒業後、5年前に日本に came ました。摂南大学では銀行の経営組織や株式市場について研究しています。今回、先生から中国の大学図書館と摂南大学の図書館とを比較して論じなさい、との宿題をいただきましたが、実は困ってしまいました。先生は何か大きな違いがあるのではないかと期待しているようですが、私たち学生にとってはあまり変わらないように思うのです。ですが、思いついたことを挙げてみます。

一般的に言えるかどうかは分かりませんが、私たちの経験からすると中国の大学ではレポートを書くことはほとんどありませんでした。学期末の点数はほとんど試験で付けられます。試験の内容は教科書に沿ったもので、大体が暗記ものです。そのため、図書館は主として自習の場、教科書を持ち込んで勉強する場となります。文献やデータを探すということはあまりしなかったように思います。私たちだけかとも思いましたが、友人や先輩に聞いても同じようでした。摂南大学の学生さんはどうでしょうか。

少し驚いたこと、少し違うと思ったのはインターネットです（もっと驚いたのはビデオが見放題なこと）。日頃、先生にはインターネットの利用で“コピーペースト禁止”と口酸っぱく言われていますが、研究に行き詰まるとどうしてもコピーペーストしたくなります。言い訳をすると、私たちの研究分野では財務・経済データ、株価データを頻繁に利用し、これらは銀行や証券取引所、省庁のホームページからダウンロードするのが常識です。そのインターネットが、摂南大学では自由に使えるのには驚きま

した。日本に来て何年も経っていますので状況も変わっているかもしれませんが、中国の大学では有料でした。しかも、データが簡単に入手できるのには驚きました。

最後に中国とかなり違うと思ったのは、カウンターの人が親切だということです。たまたまなのか、考え方の違いなのか分かりませんが、留学生だけではなく日本人の学生にとっても、とても助かっているのではないのでしょうか。

大学院経営情報学研究科

修士2年 曹 継文

修士2年 張 偉勝

断っておくと、上記は小職と学生の独断と偏見に基づいている。ただ、これまで接した留学生から似たようなことを聞いているので、当たらずとも遠からず、であろう。

ところで、ここではあまり強調されていないが、二人に限らず彼ら留学生に共通しているのは、図書館をあまり利用していない、ということだ。実のところ、大学図書館について思うことを書いてくれと日本人大学院生に原稿を依頼したところ、断られた経緯がある。その主たる理由は大学図書館を利用しないから、というものだった。

「図書館の可能性は人間の可能性でもある」という（大串夏身『図書館の可能性』青弓社、2007）。図書館利用の促進は想像以上に切実な問題であり、もしかするとこの点で日中相通じるものがあるかもしれない。

教授 岩坪 加紋

Expectation of Academy Award

法学部3年 池田有紀



年に一度のビック・イベントがやってきた。米国最大の映画祭・アカデミー賞である。洋画ファンにはたまらない祭典だろう。かくいう私も、毎年このシーズンを心待ちにしているうちの一人だ。ノミネート作品が封切となれば劇場に足を運び、素人ながら賞の行方を予想する。この時期ならではの、ささやかな楽しみである。ということで、今回はこの場をお借りして、私の賞予想を述べたいと思う。個人的な趣味が強く反映された見解だが、最後までお付き合い頂ければ嬉しい。

その行方が最も注目されるのは、おそらく作品賞だろう。今年はかなり激戦が予想される。10 部門ノミネートのモノクロ作品『アーティスト』が一步リードとの見方が強いが、『ヒューゴの不思議な発明』は 11 部門にノミネートされている。勿論、ノミネートの数が必ずしも受賞に直結するとは限らない。とすると6部門ノミネートの『戦火の馬』も侮れない存在になってくるのではないだろうか。何しろメガホンを取ったのがスピルバーグ監督なのだ。

スピルバーグ監督といえば、戦争ものの作品に強いというジンクスがある。彼はこれまで二度、オスカー像を手にした。『プライベート・ライアン』と『シンドラのリスト』である。いずれも第二次世界大戦に言及したものとなっている。前者は戦争の悲惨さをかなり生々しく描いた作品となっており、その描写には思わず目を塞いでしまうほどである。が、それが現実なのだ。私はスピルバーグ監督の戦争映画を観て、もう二度とあんな馬鹿げたことをしてはならないという、彼の強いメッセージを感じた。まだ封切になっていないので断言はできないが、今回の『戦火の馬』もそうした彼の思いが凝縮された作品になっているのだろう。全世界の戦争放棄の期待を込めて、私は監督賞を『戦火の馬』に贈ってほしいと思う。

さて、作品賞・監督賞に続いて気になるのが、主演男優賞・主演女優賞だろうか。男優賞には、ジャン・

デュジャルダン、ジョージ・クルーニー、ブラッド・ピット、ゲイリー・オールドマン、デミアン・ビチルの五名がノミネートされている。ジャンとジョージの一騎打ち説が有力らしいが、私は敢えてゲイリー・オールドマンを推したい。彼は今まで様々な作品でその高い演技力を見せてきたが、悪役が多いせいかノミネートすら皆無だった。それがここへきての快挙である。是非とも彼にオスカー像を手にしてほしい。余談ではあるが、彼の素晴らしいを知るには次の二作品がお勧めである。『レオン』『JFK』。とくに『JFK』は台詞が殆ど無いにも関わらず圧倒的な存在感をスクリーンの中から見せてくる。御存知ない方は一度、ゲイリーの圧巻の演技をご覧いただきたい。

話を元に戻そう。主演女優賞の行方だが、私は前評判通りにメル・ストリープ（『マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙』）が受賞するのではないかと予想していた。過去形なのは、ルーニー・マラ（『ドラゴン・タトゥーの女』）の存在感が徐々に大きくなりつつあるからだ。ロードショーの日が迫っているためか、CM も頻繁に見掛けるようになった。“オスカー常連女優”の異名を持つメル・ストリープか、若手のルーニー・マラか。ベテランのメルに受賞してほしいという思いがある一方で、実力のある若手女優の台頭を見たいという思いがあるのもまた事実。主演女優賞だけは、本当に見当がつかない。作品を観れば分かるのだろうか。だとすれば、一刻も早く劇場に足を運ばなければ。

と、映画の話を始めればいくらでも続けられそうなので、とりあえず主な4部門についてのみ、私なりの賞予想を立ててみた。「この人に受賞してほしい」などと、予想というより半ば願望と言った方が正しい部分もあったが（というより、それが大半だったが）、これを機に、上記で紹介した作品を鑑賞したり、洋画に興味関心を抱いて頂けるきっかけになれば、幸いである。

【摂大文化大賞 入選作品決定】



2011年度摂大文化大賞の作品募集の結果、ビジュアル部門(写真、絵画等)に7点の応募がありました。(リテラル部門(評論、小説など)の応募はありませんでした。)公開投票および図書館運営委員による審査の結果、つぎのとおり入選作品が決定し、1月30日に表彰式を行いました。

賞	作品名	部門	所属	年次	氏名
大賞	該当なし				
ビジュアル部門 優秀賞	遠い匂い	ビジュアル(写真)	薬学部	1	匿名
人気賞	猫!!	ビジュアル(絵画)	経営学部	2	池崎 翔一
入賞	① アルバムを作ろう!	ビジュアル(コラージュ)	外国語学部	4	森山 湖
	② ミラー	ビジュアル(写真)	法学部	2	中谷 祐太
	③ 「絆」	ビジュアル(書道)	外国語学部	4	武田 由紀子



ビジュアル部門 優秀賞



人気賞



入賞①



入賞②



入賞③

<編集後期>

2011年度、本館では書架の移設・新設、枚方分館はリニューアルオープンと設備面での改善を図りました。ソフト面でも利用者の声を反映させながら図書館運営を図りたいと思います。希望図書のリクエストも随時受け付けていますので、図書館に置いてほしい本があれば、ぜひ申し込んでください。お待ちしております。



Smart and Human

常翔学園

摂南大学



「学而」摂南大学図書館報 No.93 2012.3

編集・発行 常翔学園 摂南大学 図書館

本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

TEL.(072)839-9111

分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1

TEL.(072)866-3102

URL:<http://www.setsunan.ac.jp>

常に成長！前進！広がる常翔教育！

常翔学園グループ 摂南大学、大阪工業大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校／
常翔啓光学園中学校・高等学校